

河川に関すること

意見・質問・要望等 枝野は水害に弱い。防災のために阿武隈川にそそぐ支流の浚渫を要望しているが、急いでほしい。【枝野自治センター】

当日の回答 当局に伝えます。

当局・議会回答 ご要望の箇所は県管理河川の桜井川及び新桜井川と思われま
す。浚渫については引き続き要望していきます。【土木課】

地域医療・救急体制に関すること

意見・質問・要望等 夢のある角田市にするための大切な一つに人材育成がある。仙南
地区には看護師が足りないが、みやぎ県南中核病院に看護学校を
作れないか。若い女性の地元就職は未来への希望になるのではな
いか。【枝野自治センター】

当日の回答 みやぎ県南中核病院では、白石高校看護課と連携しています。そ
の一環として看護師育成、確保の手段として育英金制度を設けてお
ります。卒業後の就職を条件に希望者に育英奨学資金を付与してお
り、間もなく卒業生が勤務することになります。看護学校開設の要望
については承ります。

当局・議会回答 現在、みやぎ県南中核病院(以下、「中核病院」という。)において
看護学校を創設することについては、建設及び維持管理費用に数
億円を必要とすることが見込まれ、その費用負担のあり方も大きな課
題となることから、看護学校を創設する考えはないようです。
看護師不足解消の取り組みとしては、看護師等奨学金制度を実施
し、看護師または助産師として中核病院に勤務しようとする方に対
し、修学のための奨学金を貸付けています。
また、中核病院では、白石高校看護科の実習生の受入れを行って
います。【健康推進課】

道の駅に関すること

意見・質問・要望等 1月の全戸配布で「賑わいの交流拠点施設の整備実施計画(案)
の概要について」という資料が配布された。以前の計画より縮小した
と聞いたが、そうなのか。【枝野自治センター】

当日の回答 当初の計画2.8haから2.1haに縮小されました。道の駅は交流人口
の拡大と地域産業発展の施策の一つです。枝野地区振興協議会か
らも要望が出ていますが、今回示されたものに対し、議会が納得して
いるものではありません。早急に議会として納得でき、市民の皆さん
も安心できる計画を出すように要望しているところです。

当局・議会回答 東日本大震災以後の建設費の高騰、今後の市の財政状況等を考
慮して、整備に必要な基本機能はそのままに、整備規模を2.1haに
縮小した実施計画(案)を市議会に説明しています。一方で、中央公
園との一体利用のご意見もありますので、財政状況等を考慮しなが
ら、望ましい整備規模を早急に決定していきたいと考えています。
【道の駅整備室】

道の駅に関すること

意見・質問・要望等

道の駅は5年前の長期計画の中で決議されている計画だ。7、8割が賛成であれば実施していいのではないか。財政の見通しも財政調整基金残高に問題はなさそうだし、市民への説明も、今回、概要で示された。議員の中で議論を深めてほしい。【枝野自治センター】

当日の回答

第9回議会報告会で財政的な不安について多くの意見が出されましたので、当局に伝え回答を待っているところです。財政的には財政調整基金を取り崩すより「ふるさと納税」を増額させ、財源に充てるなど努力すべきです。道の駅の運営については失敗は許されず、本気で取り組む考えです。

当局・議会回答

今後の財政の見通しですが、現在、策定中である長期総合計画実施計画に合わせて、平成28年度から平成30年度まで3年間の計画で算出しました。

この3年間には、賑わいの交流拠点施設整備事業や保育所整備事業などの大規模事業を見込んでいるが、これらの大規模事業が終了する平成30年度末においては、財政調整基金の残高は10億円以上を確保できる見込となっており、角田市の財政調整基金の適正規模である8億円を上回る状況となる見込みとなっています。

市債の残高は、平成29年度に過去最高の約145億円となり、平成30年度から平成40年度までは、元利償還金が増加するため、財政負担が大きくなりますが、元利償還金の地方交付税措置分を除いた一般財源の持ち出しについては、平成18年度以前よりも少ない状況となります。

財政負担が少ないとはいえ、今後も引き続き、減債基金の活用や行財政改革を強力に推し進め、財源の確保を図り、常時、政調整基金残高10億円以上を確保しながら、持続可能な財政運営を進めていくこととしています。【道の駅整備室】

道の駅に関すること

意見・質問・要望等

道の駅を運営する会社がどのような経営をしていくかが問題だ。どのように考えるか。【枝野自治センター】

当日の回答

来たお客様をおもてなし、利益を上げるのが目的です。営利目的の視点が必要です。

当局・議会回答

施設の管理運営団体は、行政が実施することができない収益活動により、出荷者の安定収入を図るとともに、第3の公共を担う団体として、行政や市民と連携し、まちづくり会社としての役目を担える会社にしていきたいと考えています。【道の駅整備室】

道の駅に関すること

意見・質問・要望等

6年前から計画に携わっている。女性の立場から綺麗なトイレ、防災拠点施設としてヘリコプター発着所、休憩施設としてコンビニエンスストアがあれば良い。

産直販売は、当面、軽トラック市ができれば良いとの提案を行った。また、体育施設に多くの方が来るということで適地とされた。今、箱モノばかり話されているが、維持が大変だと心配する。小規模に始めて、拡大してはどうか。【枝野自治センター】

当日の回答

「スポーツ施設があって、人が利用することで賑わいが生まれ、そこで道の駅の必要性が生まれた」という当初の流れが説明されていません。計画メンバーの確認も含めて議会で取り上げていきます。

当局・議会回答

ヘリコプターの発着場というご提案ですが、整備区域で常設ヘリポートの条件を満たすことは困難なので、角田市防災計画では、中央公園の多目的広場や芝生広場を想定しています(島田地区の山林火災で使用実績有り)。

産直販売の軽トラック利用は、短時間の販売であれば可能ですが、天候を気にせず、1日中、1年を通して農産物生産者が常駐して継続していくには無理があります。また、生産者が販売に従事することで、農産物生産のための時間が少なくなり、良質で安全・安心な農産物生産に支障をきたすのではないかと思います。また、購買客に、開催時間にだけ来てほしいという体制では、集客力を確保し続けることはできないと思います。

やはり、生産者と販売者がそれぞれ役割分担をしていくこと、場所や設備を整えることが必要となりますので、その機能を備えた賑わいの交流拠点施設は必要になってくると考えています。

実施計画(案)で示した施設の規模については、市民20人で構成したワークショップで提案された必要な機能を確保しつつ、過大な施設とならないよう計画しています。【道の駅整備室】

道の駅に関すること

意見・質問・要望等

道の駅に人を呼び込むために、運動公園エリアでのイベント開催も考えられる。イベントの開催時の阿武隈急行角田駅とのアクセスはどうするのか。【枝野自治センター】

当日の回答

道の駅に関わらず、公園エリア全体が賑わいのエリアになれば当然アクセスは考えなければなりません。持ち帰り調査研究します。

当局・議会回答

角田中央公園(特に陸上競技場や総合体育館)での市が関与するイベントでは、角田駅と会場との間にシャトルバスを運行するなどの交通支援を行っています。

道の駅で開催されるイベントについて、シャトルバスが必要なイベントであれば、交通支援についても検討していきたいと考えています。【道の駅整備室】

道の駅に関すること

意見・質問・要望等

イベント開催時の駐車場は足りているのか。【枝野自治センター】

当日の回答

来客数が3,000人を超える場合、エリア内、周辺の全ての駐車スペースを使ってやっと収容できる状況です。道の駅と言うことだけではなく、賑わい交流エリアとしての活用を考えれば、当然確保しなければならない重要なスペースです。

当局・議会回答

道の駅の駐車場の確保台数は、交通量に基づき、実施計画(案)では、算出した台数を基本としつつ、整備区域で最大限可能な駐車台数を確保することとしています。

区域に隣接した県道角田山下線の計画交通量を基本に駐車台数を算出すると、基準となる駐車台数は、小型車75台、大型車4台となります。この駐車台数を基本(最低数)として、区域内で最大数の駐車場で確保できるように施設の配置を計画することとし、小型車117台、大型バス6台としています。【道の駅整備室】

意見・質問・要望等

- ①道の駅については、平成27年7月28日付けで、枝野・藤尾・東根・桜の地区振興協議会合同で陳情しています。改めてその文章を読み直してほしい。【枝野自治センター】
- ②賑わいの交流拠点について詳しく説明してほしい。【野田生活センター】
- ③道の駅について、議会がバラバラで進まないようだが、一致団結して進めてほしい。【藤尾自治センター】
- ④議会改選前には道の駅の建設に反対だと言っていたが、改選後はそうでもなさそうだ。今はまだ、分からないとのことだが、予算を通していても関わらず、分からないではおかしい。今まで何をしていたのか。市長と一緒に進もうということなのか。まだ判断しかねるということなのか。【北郷自治センター】
- ⑤各論はともかく、総論として聞きたいが、賑わいの拠点整備計画のビジョンの中に、交流拠点整備などが行き着いたところに、道の駅という具体案があるということだと思う。このビジョンを議会は了解としたのか。そのものを議会は駄目だと言っているのか。【北郷自治センター】
- ⑥道の駅の建設について、議会は賛成なのか。【中島下区民会館】

当日の回答

- ①再読します。
- ②平成27年度の当初予算で議会に提出しましたが、議会で指摘した点を考慮し、当局は予算を撤回しました。それを見直したということで、また当初予算で提出してくると思われそうです。
この件については、これまで指摘してきた点、また、角田市農業経営者会議との角田市議会一般会議で出された意見なども加え、議会としては、更に皆様の意見を聞いて判断していきます。
- ③道の駅については、現在、検討中です。議会報告会や一般会議を通じて、市民の皆さんのご意見を集約して、総合的に判断したいと考えています。
- ④用地買収には反対してきました。計画を検討し直し、再度示すよう申し入れました。平成27年11月にその検討結果が示され、施設の的にも財政的にも縮小した形が出され、議会として検討を重ねているところです。今の時点で賛成反対は決定していません。
- ⑤当初の計画で5億円が15億円にもなっており、財政的懸念(今後の負担も含め)に加え、当初のコンパクトな構想からは大きく変容してきたことへの心配もあります。
- ⑥議会として結論は出していません。議会報告会などを通じて、市民の意見を聴取しているところです。

当局・議会回答

賑わいの交流拠点施設整備事業における本市議会の動きは次の通りです。

●平成23年3月23日

地域資源や角田ブランドを活かしたおもてなしによる交流・連携や定住・促進を図ることを目的とした「交流人口100万人都市への挑戦」を重要プロジェクトの一つに掲げ、角田中央公園付近に「賑わいの交流拠点施設」の整備を位置付けした「角田市第5次長期総合計画基本構想について」を議決した。

●平成24年11月

角田市において賑わいの交流拠点施設の整備基本構想を策定された。

●平成25年5月31日

角田市議会全員協議会を開催し、当局より「賑わいの交流拠点施設

設整備基本構想等について」の説明がなされた。

●平成27年2月4日

角田市議会全員協議会を開催し、当局より「賑わいの交流拠点施設整備基本計画(案)の概要について」の説明がなされた。

●平成27年3月

角田市において賑わいの交流拠点施設整備基本計画を策定された。

●平成27年7月9日

角田市議会議長から角田市長に対し、「『第9回議会報告会』に係る市政に対する要望等について」書面により提出しており、この要望等のうち、「道の駅に関すること」については、当局に対し課題として次の3点

- ① 施設の管理運営に対する不安等について
- ② 地域産業(農業・商業・工業)の活性化策について
- ③ 将来に向けての財政計画の見通しについて

を提言していますが、市民並びに議会に対して説明不足のため、市民の不安がぬぐえない状況にあることから、説明機会を設けるよう要望した。

●平成27年7月24日

角田市長から角田市議会議長に対し、上記「①から③までの課題については、現在事項ごとに整理をしており、説明に関する事項の整理がつき次第、まずは議会に対する説明(全員協議会等)を行った後、ホームページや地区振興協議会等を通じて、市民への説明を行っていきたいと考えている」旨の回答があった。

●平成27年7月28日

「賑わいの交流拠点施設整備基本計画」の早期実現に関する陳情を枝野・藤尾・東根・桜地区振興協議会長より提出され受理。

●平成27年8月27日

陳情者に対して、角田市議会としては、いまだ角田市長から説明がされていない状況であり、また、議会としての正式な議論も行っていないことから、角田市長から説明を受けた後に、議会としての議論を尽くし、当該事業に対する結論を導いていきたいと考えている。このようなことから、「早期着工と計画通りの供用開始を要請する状況にはない」との結論に至るとの報告をした。

●平成27年11月16日

角田市議会全員協議会にて、「賑わいの交流拠点施設整備実施計画(案)」の概要について当局より説明を受けた。
(当該会議については、傍聴を許可するとともに、インターネットによるライブ配信を実施した。)

●平成28年1月15日

角田市農業経営者会議との角田市議会一般会議を開催した。
(当該会議は傍聴を許可した。)

議題:角田市の農業ビジョンについて

- (1) 未来を拓く角田の農業について
- (2) 賑わいの交流拠点施設整備実施計画(案)について

●平成28年2月16日

角田市議会議員協議会にて「『賑わいの交流拠点施設整備基本計画』の早期実現に関する陳情」を含む陳情書を全議員に配付した。

また、同日、角田市商工会との角田市議会一般会議を開催した。
(当該会議は傍聴を許可した。)

議題:(1) 角田市まち・ひと・しごと創生総合戦略における商工業の振興について

- (2) 賑わいの交流拠点施設整備実施計画(案)における商工業の振興について

- 平成28年2月19日
角田市議会第381回定例会(第1日)において、議案第25号 平成28年度角田市一般会計予算(賑わいの交流拠点施設整備事業を含む)が上程される。
また、『「賑わいの交流拠点施設整備基本計画」の早期実現に関する陳情』を含む陳情書を当局に配付した。
 - 平成28年2月29日
角田市議会第381回定例会(第2日)において、議案第25号 平成28年度角田市一般会計予算を予算審査特別委員会に付託した。
 - 平成28年3月3日
予算審査特別委員会(第2日)において、議案第25号 平成28年度角田市一般会計予算について、当局より趣旨説明を受け、質疑の後、小湊 毅議員より通告のあった「賑わいの交流拠点施設整備事業」について、議員間自由討議を実施した。
 - 平成28年3月4日
予算審査特別委員会(第3日)において、議案第25号 平成28年度角田市一般会計予算について、産業建設所管分(「賑わいの交流拠点施設整備事業」を含む)を予算審査特別委員会産業建設分科会に付託した。
 - 平成28年3月7日
予算審査特別委員会産業建設分科会において、議案第25号 平成28年度角田市一般会計予算の中で「賑わいの交流拠点施設整備事業」について審査を行った。
 - 平成28年3月11日
予算審査特別委員会(第4日)において、平成28年3月7日に開催した予算審査特別委員会産業建設分科会の審査内容を産業建設分科会長が報告し、質疑を行った後、発議者 小湊 毅委員、賛成者 日下七郎委員ほか2人より、議案第25号 平成28年度角田市一般会計予算に対する修正動議(歳出7款1項5目賑わいの交流拠点施設整備費の12節役務費の手数料、13節委託料及び17節公有財産購入費の削除及びこの削除から派生する関連項目の予算額等を修正)が提出され、修正動議の説明、質疑、討論、表決を行い、議案第25号 平成28年度角田市一般会計予算について、「原案のとおり可決すべきもの」と決した。
 - 平成28年3月16日
角田市議会第381回定例会(第6日)において、議案第25号 平成28年度角田市一般会計予算について予算審査特別委員会委員長報告の後、質疑、討論、表決を行い、「原案のとおり可決」(賛成13人、反対4人)した。
 - 平成28年3月29日
各地区振興協議会との角田市議会一般会議を開催した。(当該会議は傍聴を許可した。)
議題:(1) 角田市まち・ひと・しごと創生総合戦略における地域振興について
(2) 道の駅をはじめとする賑わいの交流拠点施設整備実施計画における地域振興について
-

不法投棄・ごみに関すること

意見・質問・要望等

ごみ問題で「市民が努力した分は、ごみ分別や不法投棄対策として予算化」とありますが、市民が努力した分は市民に還元するということか。きちんと分別した人に還元はないのか。【枝野自治センター】

当日の回答

角田市はごみ処理について負担金を出しています。そのうち市民の努力で減額された分は、個人への還元はできませんが、市民全体のごみ対策のために使っていきたいということです。

当局・議会回答

市民の方々が分別していただいたごみのうち、仙南地域広域行政事務組合における鉄・アルミ等の売払分は、ごみ処理等施設等の管理運営費の軽減、角田市における古紙の売払分は、ごみの回収費用の軽減に役立っており、環境行政全般に対して使用されています。

ごみ対策としては、市職員等が、希望する行政区に対して行う「ごみ分別出前講座」による周知徹底や不法投棄防止のための機器の設置について、角田市環境衛生組合連合会と連携し取り組んでいきます。【生活環境課】

防災に関すること

意見・質問・要望等

①異常気象が発生する中、災害に適した新しい阿武隈川洪水ハザードマップを早く作ってほしい。それに基づき、高台の無い枝野地区の避難場所、避難経路を考え直すべきではないか。【枝野自治センター】

②桜地区は、阿武隈川の近くで、堤防決壊が心配だ。この地区は、避難場所が台山公園である。決壊した場合、逃げようがない。堤防が完成形態になっていない。避難方法、堤防を見直してほしい。【桜自治センター】

③防災情報の周知方法に関して、継続調査事項(4)の水害時のハザードマップ作成及び避難場所・避難経路等の市民への公表が重要と考える。それらを含めた総合防災マップ(洪水・土砂災害・地震・火災等)を早急に作成し、平成27年度中の配布を目標に進めてほしい。【中島下区民会館】

当日の回答

①ハザードマップは、現在、国土交通省において作成中で、平成28年中には配布できる予定です。非難所は枝野小学校が予定されております。早い非難が最善であり避難所の早期開設、迅速かつ正確な情報の提供できるよう今後も協議していきます。

②要望として、担当課にお伝えします。

③議会としても、総合防災マップ(洪水・土砂災害・地震・火災等)早期作成が必須と考えています。要望として受け止め、担当課に伝えます。

当局・議会回答

洪水ハザードマップについては、国土交通省が現在、見直し中の浸水想定区域図を作成しています。浸水想定区域図の完成(公表)は平成28年度の出水期頃を予定しているとのことなので、その区域図を基に地区民の皆様の意見を聞いた上で、当市に合った洪水ハザードマップを作成したいと思いますので、平成28年度末ぐらいに各家庭に配布できると考えています。

枝野4・5・6区や桜地区等は、阿武隈川に近く、また高台が近くないことから水害に対しては特に注意し、他地区よりも早めの避難行動をとる必要があります。避難経路についてもそれぞれの家によって通れる道、通れない道が水位によって違ってきますので、自分で調べ2～3路線を計画しておくことも大切かと思えます。できれば同じ地形、地域に住んでいる方々で計画を作ってみてはどうでしょうか。その計画を自主防災組織の中で活用することができればより良い計画となると考えています。【防災安全課】